

株式会社エムウェーブ第23期事業報告書

自：平成31年4月1日

至：令和2年3月31日

1 事業の概要

(1) 事業の経過及びその成果

地域の発展と振興のため積極的な営業活動を展開するとともに、「エムウェーブ」及び「ビッグハット」を長野の貴重な財産として情報発信を行い、関係機関との有機的な連携をはじめ、良質なサービスの提供、施設利用の一層の促進、運営面での更なる効率化、合理化に努めてまいりました。

令和元年10月には台風19号の接近により暴風警報が発表されたため、エムウェーブのスケート一般営業を2日間休止したほか、エムウェーブ部門及びビッグハット部門共に貸館利用の取消し申出が生じました。

また、新型コロナウイルス感染の拡大に伴い、令和2年2月下旬以降エムウェーブ部門及びビッグハット部門共にスケート大会・アイスホッケー大会の中止のほか、貸館利用の取消し申出が生じました。

当期の経営成績のうち売上高は、イベントの減少などで、6億2,286万円と前期より1,805万円減少しました。

販売費及び一般管理に係る営業費用は、6億1,585万円で、人件費や市納付金の増加などにより、前期と比較して1,072万円増加いたしました。

なお、令和元年台風19号による災害に当たり、長野市へ100万円を寄付しております。

当期の営業外損益等を含めた税引前当期純利益は、前期と比較して1,046万円減の339万円となりました。

(2) 施設部門別実績

【エムウェーブ部門】

① 施設見学及び売店部門

「長野オリンピックミュージアム」は、東京オリンピック・パラリンピックに向けた展示物の充実や貸館イベント時の動線確保に努めました。見学者は17,596人で877人の増加となりました。

売店の売上は、東京オリンピック・パラリンピックライセンス商品の販売などにより、84万円増の483万円となりました。

② 貸館部門

貸館営業につきましては、継続的にご利用いただいている顧客への営業も含め、ビッグハットと営業面での連携を図りつつ、コンサート、展示会など大規模イベント等の誘致・開催に努めました。イベントの年間開催件数やコンサートの減少により、売上は、7,663万円と前期と比較して1,737万円の減少となりました。入館者数は、前期比3万人減の283,093人でした。

③ スケート部門

スケート大会につきましては、ISUワールドカップスピードスケート競技会や全日本スピードスケート選手権大会などを開催しました。売上は3,535万円で、前期と比較して756万円の増加となりました。スケート大会の入場者数は27,030人でした。

スケート入場売上は4,723万円で、前期と比較して1,084万円の減少となりました。無料開放を6日間実施したスケート入場者数は、NTC利用者を含め57,881人で、前期と比較して16,977人減少しました。

エムウェーブのアイススケートの営業概要は、次のとおりです。

■ 営業期間

令和元年10月1日	全日本及び競技者合宿受入
10月6日	スピードリンクオープン（一般営業開始）
10月26日	ホッケーリンクオープン
10月31日	スケート教室受入開始
令和2年3月8日	営業終了（一般営業は3月1日まで）

■ 製氷日程

スピードスケートリンク	令和元年9月9日	準備開始
	9月30日	製氷終了
アイスホッケーリンク	令和元年10月17日	準備開始
	10月25日	製氷終了

■ N T C (ナショナルトレーニングセンター)

アイスリンク専有時間	188.0時間
利用選手数	延べ12,186人 (うち、N T C 選抜有資格者 4,955人)
トレーニングルーム利用者数	延べ 3,864人

■ 無料開放 (6日間)

1	令和元年10月6日 (日)	
2	10月27日 (日)	
3	11月24日 (日)	
4	令和2年1月19日 (日)	
5	2月22日 (土)	氷の彫刻展同時開催
6	2月23日 (日)	//

※ 令和2年3月8日 (日) に予定した無料開放は中止

■ 市内小学校スケート教室

教室開催日	29日間
参加学校数	延べ49校
参加者数	延べ 6,367人

■ 主な競技会・イベント

1	I S U ワールドカップスピードスケート競技会第4戦	令和元年12月13日 (金) ~15日 (日)
2	第87回全日本スピードスケート選手権大会	令和元年12月26日 (木) ~29日 (日)
3	第40回全国中学校スケート大会 (スピード)	令和2年2月1日 (土) ~2月4日 (火)
4	第18回エムウェーブスピードスケート競技会	令和2年2月7日 (金) ~9日 (日)
5	第45回長野県ジュニアスピードスケート競技会・東北信大会	令和2年2月15日 (土)
6	第20回氷の彫刻展	令和2年2月22日 (土) ~23日 (日)

※ 令和2年3月7日 (土) に予定した第50回長野市スケート競技大会 (スピードスケート・フィギュアスケート) は中止

④ その他

館内の広告看板営業収入については、前期比41万円減の 649万円となりました。

【ビッグハット部門】

① 貸館部門

貸館営業につきましては、コンサート、各種製品の展示販売会や団体の大会等様々な分野でのイベントを積極的に誘致し事業を展開しました。コンサート8件やアイスショー1件などの貸館があり、売上は1億4,849万円と前期と比較して1,012万円の増加となりました。入館者数は2万人減の353,425人でした。

② スケート部門

スケート大会につきましては、全中のフィギュアスケート大会が開催されましたが、大会数の減少により、スケート大会売上は497万円で、前期と比較して37万円の減少となりました。大会の入場者数は10,170人でした。

スケート入場売上は267万円で、前期と比較してより77万円の減少となりました。スケート入場者は、1,704人で、62人増加しました。

ビッグハットのアイススケートの営業概要は、次のとおりです。

■ 営業期間

令和元年12月16日	リンクオープン アイスホッケー・フィギュアスケート練習開始
令和2年3月1日	リンク営業終了

■ 製氷日程

令和元年12月2日	準備開始
12月15日	製氷終了

■ 主なイベント及び競技会

1	第29回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（中学生）	令和元年12月21日（土）～22日（日）
2	第29回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（小学校低学年）	令和2年1月4日（土）～5日（日）
3	第29回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（小学校高学年）	令和2年1月18日（土）～19日（日）
4	浅田真央サクスツアー	令和2年1月25日（土）～26日（日）
5	第40回全国中学校スケート大会（フィギュアスケート）	令和2年2月2日（日）～4日（火）
6	U10長野ウインターカップ	令和2年2月8日（土）～9日（日）

※ 令和2年2月28日（金）～3月1日（日）に予定した第39回松澤記念アイスホッケー大会は中止

(3) 営業成績及び財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
売上高	93,020	503,205	477,700	427,268	411,745	342,744	360,336	368,690	226,660
当期損益 (税引後)	△9,014	△32,767	32,162	5,041	6,673	△279	8,568	6,572	18,438
1株当り 当期損益	円 △1,502.35	円 △5,461.1	円 5,360.47	円 840.22	円 1,112.14	円 △46.52	円 1,428.05	円 1,095.37	円 3,072.95
純資産	290,986	258,219	290,382	295,423	302,096	301,817	310,385	316,957	335,395
総資産	345,709	318,346	348,281	377,501	334,536	327,694	350,694	349,387	383,298

区 分	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
売上高	626,482	643,286	628,308	648,565	677,245	627,560	644,889	663,919	639,418
当期損益 (税引後)	36,142	18,123	14,059	16,599	19,293	12,519	2,578	5,978	12,185
1株当り 当期損益	円 6,023.69	円 3,020.33	円 2,703.64	円 3,192.09	円 3,710.20	円 2,407.55	円 495.91	円 1,149.65	円 2,343.43
純資産	371,537	389,660	363,719	380,318	399,611	412,130	414,709	420,686	432,872
総資産	450,954	464,166	430,645	473,967	470,712	483,716	488,594	507,272	505,043

区 分	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期				
売上高	674,087	682,983	621,096	640,918	622,865				
当期損益 (税引後)	13,658	16,386	12,598	8,008	1,254				
1株当り 当期損益	円 2,626.62	円 3,151.22	円 2,422.80	円 1,540.16	円 241.19				
純資産	446,531	462,917	475,516	313,525	314,779				
総資産	539,002	563,713	547,772	393,314	385,087				

(注)

- 1 第1期は、当社設立が6月1日であり、9月30日までの4か月間です。
- 2 第9期から事業年度を4月1日から翌年3月31日までと変更したため、第9期は6か月間です。
- 3 1株当たり当期損益は、期末発行済株式の総数から算出しています。なお、発行済株式の総数については、自己株式を除いています。
- 4 第10期からビッグハット及び若里市民文化ホールの指定管理業務を行っています。
- 5 第22期において、資本金の額を3億円から9,000万円に減少するとともに、自己株式800株を消却しました。

(4) 設備投資の状況

- ① OSのサポート終了に伴い、事務処理用サーバーシステムを更新しました。
- ② 消費税率の引上げ及び軽減税率の導入に伴い、エムウェーブのスケート受付の券売機及びPOSレジを更新しました。

(5) 会社に対処すべき継続的課題

- ① 長野オリンピックの貴重な遺産である「エムウェーブ」、「ビッグハット」を長野の財産として後世に引き継ぐとともに、長野の知名度、イメージアップ、地域振興のため、情報発信を積極的に行う。
- ② スケートをメジャーなスポーツに育て、長野をスケートの聖地とするため、スケート普及振興に対し、物心両面でのサポーターとなる。
- ③ 合理的、効率的な経営を行い、常に良質なサービスの提供と継続的な黒字経営に努める。

2 会社の現況

(1) 株式の状況

会社が発行する株式の総数	24,000株	
発行済み株式の総数	5,200株	
株主数	8名	
株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	出資比率 (%)
長野市	3,000	57.7
長野県	600	11.5
株式会社 前川製作所	800	15.4
鹿島建物総合管理 株式会社	500	9.6
株式会社 八十二銀行	160	3.1
長野信用金庫	80	1.5
長野県農業協同組合中央会	30	0.6
長野都市ガス株式会社	30	0.6

(2) 取締役及び監査役の氏名等（令和2年3月31日現在）

会社における地位	氏 名	担当または主な職業
代表取締役会長	加 藤 久 雄	長野市長
代表取締役社長	滝 澤 信 一	株式会社エムウェーブ（常勤）
専務取締役	寺 澤 正 人	株式会社エムウェーブ（常勤）
取締役	轟 寛 逸	長野県教育委員会事務局教育次長
取締役	浅 井 隆 彦	株式会社八十二銀行常務取締役
取締役	樋 口 博	長野市副市長
取締役	高 橋 要	長野市商工観光部長
監査役	角 沢 本 広	長野信用金庫専務理事
監査役	武 重 正 史	長野県農業協同組合中央会専務理事

(注) 当該事業期中の取締役及び監査役の異動は、次のとおりです。

1 就任

令和元年6月26日開催の第22期定時株主総会において、取締役に浅井隆彦氏が、監査役に角沢本広氏及び武重正史氏が選任されました。

2 退任

令和元年6月26日付けをもって春日十三男氏は監査役を任期満了により退任いたしました。

(3) 従業員の状況（役員を除く。）

人 数		平均年齢	平均勤続年数
男 性	4 名	50歳 4 月	7 年10か月
女 性	5 名		

(注) 上記のほか、人材派遣会社から 2 名の派遣を受け運営いたしました。